

## 進路について考える

1年生は文理選択、2年生は進路選択、3年生は受験校選択の時期となりました。みなさんがそれぞれの立場で進路を考える季節です。各自の置かれた状況で「当たり前」と思われる選択を行いがちですが、それが本当に当たり前なのかを見ていきましょう。兵庫県の高卒者大学進学率は67.1%、就職率は11.3%です。さらに大学進学者のうち国立大学に進学するのは15.6%です。40人学級なら28人が大学進学でそのうち4人が国立、4人が就職という割合です。みなさんの周りはこの割合通りになっていますか？おそくなっていないでしょう。理由はそれが「当たり前」だからです。しかし、全体のデータを見るとまったく当たり前ではないことが分かります。人は「当たり前」ではない選択をすることが苦手です。しかし、自分の「当たり前」の基準を動かすことができれば、選択の幅が広がるのではないのでしょうか。〔金子祐太〕

11月・12月のおもなスケジュール		
11/23	土	勤労感謝の日【授業あり】 中3入試突破ゼミ・期末直前ゼミ 高2保護者会・英検ESG祭り【小4~6】
24	日	第2回三田祥雲館模試
30	土	中3入試突破ゼミ
12/1	日	教育相談会【授業なし】 中3公開テスト【会場受験】
2~4		教育相談会【授業なし】
5	木	冬期講習新クラス発表
7	土	中3入試突破ゼミ・新高1保護者会
8	日	自習室開室（12:00~18:00） 特進館録日（13:00~17:00）
14	土	中3入試突破ゼミ
15	日	自習室開室（12:00~18:00）
19	木	冬期講習スタート
30	月	年末年始絶対合格感動合宿① やる気UPコンサート

※年末年始の休室は12/31~1/2の予定です。

## 父の背を見て

先日、私の父が70歳を迎えました。自営の運送屋は畳みましたが、ドライバー不足の影響で今も配達の仕事をしています（宅配は二度とやらないそうです）。70歳の祝いに京丹後の料理旅館でただゆっくり過ごす旅行に連れて行きました。窓際のソファに腰掛けて海を眺めながらポツリと「贅沢やなあ」とつぶやいていました。数年前まで家計を支え、今も忙しく配達をして回っている父からすると、何もしない時間というのはとても贅沢なものだそうです。翌日、前を歩く父の姿を見て、ペンギンみたいだと思いました。長年の運転生活で腰を悪くしたようです。幼い頃に見た父の姿よりも、この日見た父の背の方がずっと大きく感じました。〔金子祐太〕

**第5回 英検ESG祭り**  
小学校英語での「英語でできること」を測る  
**英検ESGを全国一斉実施!**  
開催日 **2024年11/23(土) 13:50~14:30**  
特進館学院 三田教室にて  
準2級以上を目指す生徒の登竜門。  
塾生もきょうだいもお友だちも無料  
ですので参加しよう!【小4~小6】

## 1日1度自分をほめてみる

余っているノートを使い切ろうと思ひ、調べていたところ、「ほめ日記」なるものを見つけました。内容はただ毎日最低1つ、ほめられる自分の行動を見つけてそれについて書いていくだけです。毎日何かといそがしいですがそんな時こそ、自分をほめて、昨日の自分より、いいところ、がんばったところを見つけていくべきだと考えます。今日は昨日より10分早く起きた自分えらい!〔厚地香里〕

**10月の“自習王”決定!**  
★中学生の部  
中3 堤 伊桜里 **164.4** 時間  
★高校生の部  
高3 堤 優斗 **155.0** 時間

**12月分 11月 27日(水)**  
学費の振替  
毎月の口座振替は27日（金融機関休業日の場合は翌日）となっております。受講変更等ございましたら、毎月10日までにご連絡をいただけますよう、ご協力をお願いいたします

## 日本人の描く、日本の言葉

あたまを雲の上に出し 四方の山を見おろして  
かみなりさまを 下にきく 富士は日本一の山  
青空高くそびえ立ち からだに雪の着物着て  
かすみのすそを 遠くひく 富士は日本一の山



**代表北村の独り言**  
特進館には専任(正)社員だけでなく優秀な非常勤(パートナー)スタッフも多数。その彼ら彼女らがこの時期悩むのが、例の「103万円の壁」。時給が上がるごとにどんどん働く時間が減っていく矛盾...でも、例の政党の躍進でこの悩みが解決しそうでこれはとてもうれしい!

富士山を歌った文部省唱歌。正式名は、「ふじの山（作詞者：巖谷小波／作曲者：不詳）」。日本人なら誰でも知っている歌で、歌詞がすべての美しい情景を表していますよね。

近ごろ、人工知能とかAIとかが、もてはやされるご時世になっていますが、やっぱり日本人の描く、日本の言葉は、ほんとうに美しくて最高であると、私は考えています。

日本がこれからも世界の国々としっかりつながるためのコミュニケーションツールとして、英語（英会話）は言うまでもなく大事ですが、国語（日本語）はその礎として、それ以上に大切なもの。これから世界へ羽ばたく子どもたちには、この美しい日本の言葉をずっとずっと忘れないでいてほしいものです。〔北村昌弘〕

## 編集後記

毎日の献立にも悩まされますが、お弁当のおかずにも悩まされます。晩ごはんのおかずを多めに作り、お弁当に使いまわすのが常ですが、残らず食べつくされることもあれば、お弁当にいれるには適さないおかずのこともあり…。暑い時期を過ぎ、中身が傷む心配は減りましたが、詰めるおかずにも悩むことは変わらず。当の子供たちは、彩りは気にしないでいいし、好きなものなら毎日入っていても大丈夫と言ってくれますが、詰める方としては多少気になるもので…この時期、緑のパリエーションは増えましたが、おいしく入れられる赤色を探しています。